

- 1 会議名 総務・産業建設常任委員会協議会
- 2 日時 令和7年8月6日（水）
午後1時37分から午後2時41分まで
- 3 場所 第2・第3委員会室
- 4 出席委員 （委員長）鬼頭博和 （副委員長）塚崎海緒
（委員）梅村均、日比野走、伊藤隆信、関戸郁文、榎谷規子
- 5 事務局出席 議会事務局長 丹羽至、同主任 御嶽千夏
- 6 委員長挨拶
- 7 協議事項

（1）行政調査について

（行程について）

議会事務局長：資料に基づき説明

塚崎副委員長：この行程で確定か。

議会事務局長：特に問題なければこの内容で新幹線の手配をするので確認をお願いする。

（質問事項（案）について）

鬼頭委員長：資料に基づき説明

追加したい質問事項があれば言っていただきたい。

塚崎副委員長：「農」あるまちづくりについて、定期借地権による貸付けなどを併せて行うことを基本としており、その仕組みについて詳しく聞きたいので質問事項に追加していただきたい。

梅村委員：自動運転バスについて、停留所をどのように決めたのか知りたい。

また、シビックプライド条例の質問④の言い回しについて、「市民理解の進み具合はどのようなか」という聞き方にしてはいかがか。

鬼頭委員長：正・副委員長で相談し、質問事項に反映する。正式なものが完成したら改めて提示する。

（2）政策提言に向けた取組について

（担当課との調査項目のヒアリング（案）について）

鬼頭委員長：資料に基づき説明

追加したい質問事項があれば言っていただきたい。

塚崎副委員長：耕作放棄地については伊藤委員が一般質問していたと思うが当局はどのような回答だったか。

伊藤委員：所有者の権限なので、行政が強制的に何かすることはできないという回答であった。

塚崎副委員長：そうすると、宮代町の定期借地権はどのようにしているのか。

鬼頭委員長：民間が間に入っているのではないか。

榎谷委員：田原市では、所有者との了解を得ながらだと思うが、農業委員会が耕作放棄地を利用した菜の花プロジェクトという事業を行っていた。観光と菜の花油の商品化を行っていた。

公共交通の充実に向けた取組については、近隣市からの巡回バスの延伸や独自の巡回バスについても聞いてほしい。

梅村委員：行政視察に向けてのヒアリングであるので、議員も把握しているべきではあるが、どの項目でも現状と課題認識を聞きたい。

鬼頭委員長：すべての項目について現状と課題を聞き取りする。行政視察に向けて各委員で事前研究を深めてほしい。ほかにも追加したい質問事項が出てきた場合はヒアリングまでに伝えてほしい。

（今後の流れ（案）について）

鬼頭委員長：資料に基づき説明

- ・商工会との意見交換会については、女性部との意見交換会を打診することと決した。

（３）その他

なし

８ その他

なし